

刊夕日三十月二十



定価 一部全紙一ヶ月五拾五圓 郵費五圓  
 廣告料 五圓以上 二行五拾五圓 一行五拾圓  
 日曜 祭日の日 休刊  
 発行所 常磐毎日新聞社  
 印刷所 常磐毎日新聞印刷局  
 電話 六三〇〇

### 幼児童話に於ける三つの基礎

内山 憲堂

近來幼児童話が研究され出して来たことは誠によろこばしいことである。一カタカナ童話や「びらかな童話」が古くから子供雑誌に載せられてあつた。しかしそれは文學を通じて文字としての童話であつた。話すための幼児童話と云ふものが論じられて来たのは極めて最近のことである。幼児へ話す場合は一般児童へ話す場合とは特別な用意と方法が要ると云ふことは實際に幼児を前にして、話した人の氣付くところであらう。これは同じ児童と云つても、幼児幼稚園と小學校五六年生とは智識の程度語彙、生活經驗、すべてが野蠻人と現代人との差程ちがつてゐるからである。これに對して一様に同じ態度を持ち、同じ言葉を持つて話すと云ふことは大なる冒險と云はなければならぬ。幼児童話と云ふものが新しく認識を持たれて来たことは當然であると云はなければならぬ。

當つて、基礎となるべき三つの途があると云ふことを忘れてはならない。一つは一般童話の一分科としての幼児童話論であり、二つは獨立した幼児のための童話論であり、第三は家庭での一人の子供を對象とした童話論である。言葉を換へて云ふれば前者は専門童話家の話す場合の幼児童話論であつて、所謂童話術の内

○0000000000  
 ○明日の献立  
 ○0000000000

【朝】味噌汁 — 豆腐 小付  
 ぜん豆

【晝】佃煮と海老 こんぶ  
 はぜ 奈良漬

【晚】清汁 — くず打ら海老  
 生しひたけ 三葉 かつら菜 レモン

包として、童話一種類としてである。後者は保姆と云ふ素人が數人の幼児を前にして話す幼児童話の場合で第三は家庭童話である。これは主として幼児童話を論ずる時のみに於て起るものである。それは幼児は學生の如く文字を讀むことが出来ないが故に、一定の場所と一定の人数とを持たないで話される場合があるからである。上級生に於て三人五人を前にして童話が話される場合は極めて稀であつて、少くとも教室とか

圖書館とか公會堂とかに於て、五六十名以上を相手に話される場合が多いのである。従つて幼児の場合は母親や祖父母が話す場合、即ち素人の場合が多く大きな子供の場合は童話を研究してゐるものが話す場合が多い。それ故に上級生の童話の論せられる場合は専門どう話家を前提としてのどう話論である。(どう話家と云ふ言葉が妥當でなければどう話研究者と、謂つてもよい)

### 常磐文藝

◇昭和十年句抄

飯田 殘雪

町角にまた會ひにける初荷かな

春泥に觀音堂をのぞみけり

春にしてその街道にあこがれぬ

百日紅燃ゆるが如き小村かな

知合の娘に會ひし涼みかな

山百合や役方の峯に人の聲

室内を改造して  
**石川の食堂...開始** 致しました  
 何卒御愛顧の程を...

食堂献立

牛 飯	御一人前	三十錢
御 酒	新香つき	十錢
上 酒	一本	三十錢
特製	石川の牛井	二十錢

外御好みに依り調製仕り候  
 女中御心付け御辭退致し候

ドーゾ氣分の良い食堂で御手軽に  
 御家族同伴の上御試食下さいませ

忘年会、新年會、會合は  
 特に御相談に應まじす

牛肉御料理 **石川亭**  
 電話 四三番

1936年  
**新年エハガキ賣出し**

ミツキーの可愛い、  
 友情こもる  
 スマートな  
 格安な  
 各種澤山入荷しました。

◎年賀状はお早く◎  
 クリスマスのプレゼント用品と  
 お正月のお楽しみ用品陳列

平野前 **いづみや玩具店**

**是非!**

御融通には御用命下さい  
 萬事便利な御相談に應じます

**三井質店**  
 平・四電六〇番六

外國製品を凌駕する  
**優良純國産品**  
 工學博士小林久平先生指導創製  
 左記販賣店よりお求め下さい

ガ金食  
 ラ 又屬器

新川 磨き

新川	二丁目	白土屋陶器店
大	藤倉	系店
五丁目	入目	江陶器店
鎌田	武町	子商店
長橋	小野	作商店
土橋	マルマン	商店

**正確な眼鏡は**  
 平町二丁目  
**根本時計店へ**

▲最新型眼鏡各種レンズ  
 豊富に取揃へてあります  
 (金銀高價買入)

**特約販賣店募集**

助川町 中村町 植田町 原ノ町  
 其他各地

**一町一店(絶対遵守)**

右開店御希望の方へ道具付にて  
 最も有利に御相談いたします。

**滿洲パン**  
 白土左行

滿洲羊かん始めました。

# 人夫一時に

## 夏井川改修に就業

### 平町地内順調な作業繼續

夏井川の大築堤工事は同河氾濫の守として上流小川村平窪村(一部を残す)、下流は神谷、夏井、草野、大浦各地内を完成して目下平町地内を工事施行中であるが先に農繁期で人夫の拂底を告げた同工事も最近農閑期に入つたこととて數百名の人夫が一時に就業を開始し順調な作業を繼續してゐる

尚好間村字川中子地内好間川合流地点は約六間下

## 製炭は休止の状態

### 人夫を救農工事に奪れて

濱三郡木炭同業組合員の本年四月から十二月廿日現在迄の木炭製産高は百十八萬五千俵で前年同期に比し三十九萬五千俵を減じた是れは各町村に救農事業が起され製炭人夫がこれに集中して一時製炭業を休止する状態に置かれた爲めであつて組合は對策に腐心して居る

## 新米高値

### 御祝儀相場

既報—平農業倉庫の本年度新米の第一回共同販賣は昨廿二日午後三時から同所で

## 道路費寄附

### 第三前開鑿に

平町搔植小路材木商長谷川浩太郎氏は今回金貳百圓を平町字大町より鎌田町に通ずる第三小學校兩側道路開鑿費の一部として廿三日平

## 臨時雇員採用決定

### 歳末の平局

既報平郵便局の歳末繁忙期は益々濃厚となつたので昨

## 祝賀作品展

### 入賞兒童決定

皇太子殿下御誕生の今日の佳き日に當り平町各小學校では夫々の催しにより皇太子殿下の御成育を壽ぎ皇室の彌榮を祝福したが各小學校一齊に行はれた祝賀兒童作品展の入賞者左の如く夫々愛國婦人會平支部寄贈の賞品を授與された

- 平第一校** △綴方 尋一 柴幸夫 尋二 新妻雅男 尋三 田代浩康 尋四 伊藤次郎 尋五 石川榮一 尋六 正木秀夫 尋七 高一 佐藤滿夫 尋八 高二 金成忠美 △書方(尋一) 齊藤俊一郎 赤塚信一 鈴木廣男(尋二) 國井英吉 根本英司 市原亮三(尋三) 大和田一郎 大嶺慶一 千葉文彦(尋四) 關内正雄 鈴木秀直

廿二日臨時雇員の採用試験を行つたが應募者三十六名のうち左記の如く事務員十八名と配達員七名の二十五名の採用を決定した

- (事務員) 根本正男 秋山清 神倉一夫 松本浩平 豊沼壽雄 藁谷正幸 根本繁忠 鳥越巖 樫村吉一 篠原孝欣 佐藤福見 西瀉智禮 新妻立雄 古川素八郎 久田定男 渡邊真行 永山季治 椎名正雄(配達) 鈴木保 木村義貞 草野精二 愛川寛二 森山一 中野季明 草野利勝

## 市外通話の料金が

### 期限迄に残らず納入

### 珍らしい成績

平郵便局去月中市外電話六百四十二口、二千七百二十六圓五十一銭は去る廿日迄の納期であつたが今回は納期當日迄に一名の未納者もなく百パーセントの好成績を挙げたが是れは珍らしい現象で歳末らしい景氣の活況を見せて居る

高木珠世(尋二) 佐藤千代安 關内陽子 菊地昭子(尋三) 黒木雅子 鈴木智恵子 花澤久子(尋四) 廣邊義子 中野静子 鈴木静(尋五) 千葉怜子 千葉富子 長瀬多美(尋六) 梅澤吉子 木田秀子 鈴木良子 海野敬子(尋一) 今橋美津子 川崎初子 上田文子(尋二) 近藤ジツイ 石井美智子 栗田ケイ子 △童謡(尋一) 明智セツ子 安齋照子(尋二) 田巻嬌子 大江川喜代 三井正子(尋三) 青天目照子 猪狩敏子 中村里子(尋四) 田卷隆子 中根満子 木村イミ(尋五) 青木美代子 志賀恵美子 黒木智子(尋六) 齊藤萬子 古市澄子 志田美恵子 高木ひで子(尋一) 伊藤アサエ 佐藤久子 杉山ツキノ 渡邊マキ(尋二) 伊藤喜代子 三浦ヤス子 佐藤トヨ △綴方 尋一 服部桂子

## 佐藤訓導 滿洲赴任

平第一小學校訓導佐藤兼介氏は此程滿洲ハルビン第二小學校へ榮轉し来る廿一日出發赴任するが同氏はフェルドに縣大會記録二回の保持者で郡下スポーツ界に貢献するところ多く赴任を惜まれてゐる

## セメント總會

セメント株式會社は去る廿一日東京丸ノ内生命保險協會で定時株主總會を開催、定期利益金處分案(配當年八分据置)を可決取締役二名の補缺選舉の結果永瀬菊次郎氏、小室萬五郎兩氏が當選した

## 平町人事

### 出生

- △長橋町三〇 篠原辰治氏 二男正二さん
- △材木町三九 當時東京市瀧野川區田端新町二ノ二七 湊紀七郎氏四男康之さん
- △立町五七 小野寺金雄氏 四男雄さん
- △相馬郡眞野村寺内字相澤 九二但野芳雄氏(三三) 舊城跡二一小谷松繁さん(二一九)
- △秋田縣雄勝郡院内町下院 内字田用橋七四 奥田要太郎氏(二七) 南町六〇 仲島ハルヨさん(二一四)
- △死 亡
- △三倉五八 小林カッヨさん(三〇〇)
- △鍛冶町三 伊坂員正氏(八)

## 平職業紹介所報告

- 回 人を求める方
- 回 人を求める方
- △外交員 卅才迄 給料歩合
- △ゲーム取見習 廿才迄 月給五圓
- △女中 廿才迄 月給三圓
- △炊事婦 四十才迄 月給五圓
- 回 職を求める方
- △集金人 卅四才 中三修
- △炊事婦 四十三才 尋卒
- △料理人 卅五才 尋卒
- △左官職 廿三才 高卒
- △鐵工 十八才 尋卒

## 電話所在揭示

運輸事務所は過般の列車轉覆事故に鑑み磐越線小川、川前間の江田、中小川、川上大瀧及び川前、夏井間、根尻、五味澤等の鐵道踏切小屋に備へてある電話機の處在を従業員に徹底させる爲め近く前記踏切には電話機所在標を掲出すると

# 世界に比類なき

## 國体の優越性を

### 認識して轉向を誓ふ

#### 刑務所内の座談會に

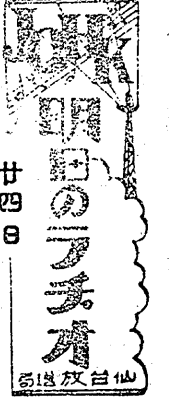
##### 山代、白土、二片、大井川四氏心境を語る

## 一切を清算し 今朗明は

過激な闘争意識を抱き巧みに地下を潜行し常磐炭田を

中心に暗躍した山代吉宗、白土五郎、二片榮司、大井川基司四氏の轉向聲明座談會は昨廿二日午後二時から平刑務所内の平自營會事務所で吉岡常任理事、武田、真木兩辯護士氏家検事、長澤特島主任外在平日刊新聞記者等三十餘名列席開催され先づ吉岡理事より今日に至つた経過報告あつて武田理事座長となり左記轉向聲明書の説明を求め山代、白土、二片、大井川氏交々立つて詳細に互り闘争當時の状況、獄中の心境、出獄後の状態の變化、今後の方針等を縷説し決然と共產主義放棄を聲明して轉向を誓ひ出席者との間に種々懇談を遂げたが大井川氏の白紙にかへつて白紙を販賣する等の洒落も出て明朗な轉向者の心境を覗かせ午後七時閉會した

願ふに吾々は正より昭和の初期に於ける思想界動搖の影響を受け共產主義運動に参加し、法網に觸れ、拘禁生活を送ること茲に數年、其間獄中にあつて静かに内省し過去に於ける行動を批判すると共に出所後具さに社會の進展、思想界の推移を観察して世界に比類なき我が國體の優越性を認識するに及び從來我々が主張し來りたる思想及び行動は過激極端なるものにして我が國の現状と相容れざるものであることを痛感するものであります而して過去に於ける我々の行動は社會の安寧秩序を攪亂し人心に不安を興へ經濟界に多大なる損害を齎せし等々その影響の甚大なるを思ひ只管遺憾の意を表する次第であります、乍然右の如き過去の行動は單なる私慾や野心から爲されたるものでなく、些かなりとも社會の欠陥を矯正し、國民の福利、労働者農民の生活向上に貢献せんが爲め社會的正義心の發動に外ならず従つて現在に於てもかの心境には變化なきものであります、然しかる理想を實現するには從來我々が主張し來つた過激なる階級闘争に依り齎らすものでなく大和民族の優越性を發揮しつゝ社會各層の人々に依る理解ある協力を正しき相互扶助に基き各自人格的に陶冶され社會的正義觀が正しく發揚されて初めて實現されるべきもの、境地に到達した次第であります、以上の如き見地から我々は茲に過去の誤謬を



天 今明も明日も北 西の風晴曇半す

今晩の部

後六、〇〇 子供の時間  
童謡と唱歌 福島縣女子師範付小児童 福島縣伊達郡富野小児童  
後六、二五 科學趣味講座  
「燃料よもやま話」黒川眞武  
後七、三〇 講演「鏡に映つた日本の顔」竹越與三  
後八、〇〇 狂言「大黒連

歌「山本東治郎他  
後八、二五 合唱管絃樂  
（銀座交詢社講堂中継）ベ  
「トージエンの」歡喜に  
寄す」新交響樂團 指揮山  
オリオンコール 指揮山  
本直忠  
後八、五〇 清元「春夜障  
子梅」(夕霧伊左衛門) 清  
元延壽大夫他  
後九、三〇 時報 ニュー  
ス 明日の歴史 氣象通

報 番組預告

明日の部

前七、三〇 朝の修養「イ  
エスの宗教」終石橋智信  
前九、〇〇 衛生メモ  
前一〇、三〇 家庭講座  
「年末年始の行事」江馬務  
後〇、〇五 ハーモニカ合  
奏と俚謡 東京マイナー  
アンサンブル 松本丈一  
他  
後二、〇〇 婦人の時間  
「婦人生活の地方色」瀬川  
清子  
後五、三五 スキー講座  
「スキー用具の選定」坪川  
武重

後六、〇〇 子供の時間  
童話劇「三人のサンタク  
ロース」神戸童話劇協會  
後六、二五 青年の時間  
「青年と政治」關口泰  
夕  
後七、三〇 子供と家庭の  
夕  
一日曜學校クリスマス  
拜 日本メソヂスト神戸  
中央教會中繼 2 物語「雪  
の夜の鐘」千葉早智子 3  
ヴァイオリン獨奏 小澤  
ラッドリブレヒト 4 木琴  
獨奏 雀ボルカ 小篠春夫  
5 ラヂオドラマ「サンタ  
クロースの贈物」中野秀  
夫他 5 絃樂合奏 コンセ  
ールピジュー

清算し更生の道を迎り生活の基礎を作り一意専心社會人としての修養に努め進んで國家の大法を遵重し産業の發達經濟力の充實を計り吾が國威を伸長し共存共榮の理想社會實現に努力せんとする者であります、右吾々の微衷を披瀝し大方諸賢の懇切な御後援を乞ふ次第であります

## 局員が籠城して

### 賀状の整理に奮闘

#### 昨年より一割増

去る廿日より年賀郵便の取扱を開始した平郵便局は第一日の取扱数は八千二百一十一通、第二日の廿一日が九千二百四十七通、昨廿二日の第三日は一躍一萬六千八百八十七通となり三日間の通計三萬四千五百五十五通が殺倒し昨年に比較して平均二

## 佑天上人の

### ロケ隊來る

本廿三日午後三時平驛着で一行廿餘名來平、明廿四日より大浦村最勝院並に附近一帯をロケすることになつたが一行のメンバーは左の通り

監督大澤恒夫 マネージャー清水徹士 撮影技師荒川勝彌 スチール大島達三 照明岩佐清盤 俳優幹事伊藤忠明 三之助(上人幼兒)久保田龍男 父小左衛門美澤安孝 母お稻明清江 住職櫻井春美 尚撮影隊は四倉方面、新舞子、最勝院等の外平町松ヶ岡公園にてロケする筈

## 母の會から

### 學校へ寄附金

玉川村母の會林城支部は昨二十二日同村善長寺に於て總會を開き今後の事業を協議したが同會は今年創立滿一周年に當る處からこれを記念に小學校兒童のため金三十圓を寄附する由

## 伊坂家の寄附

逝去した平町鍛冶町元町長伊坂員正氏の遺族は故人の意志により町役場に學校基

## 白米滿載の

### 自動車事故

双葉郡新山町字北田四五自動車業伊藤七治方運轉手浪江町生後藤耕作(三)は廿一日午後四時頃貨物自動車に白米六十俵を滿載、湯本町に行く途中四倉町字頭地内國道交又点にさしかかり前方から自動車で疾走し來た

## 幼女暴行

### 遊藝人檢舉

内郷村大字宮四一一生れ當時住所不定遊藝人太竹徳次郎(三)は廿一日午後五時頃郡山市内燈田旅館宿昭和館に止宿中郡山署員に檢舉されたが同人は同宿の安積郡多田野村生遊藝人佐藏ミヲ(二)假名を暴行した外同様餘罪多數ある見込で追究中

## 落磐で即死

大字宮宇御殿居住磐城炭礦採炭夫菅野慶(三)は廿二日午後一時頃同坑住吉坑内でワク入作業中落盤のため即死した

## 圖書を寄贈

平第一校圖書部に今廿三日東京本郷區在住の卒業生より無名で野口英世博士傳一冊が寄贈された





(読上談上)  
渡時懸

悟道軒圓玉(作)  
丸尾至陽(畫)

一二 安藤公と對面  
お花は兄定次郎と縁を切り、そこでこの事を言ひかはした男三島三郎に知らせた。この三島三郎は堀織部正の家臣、お花が定次郎と兄妹の縁を切り米國公使の代理を致し居るヒュースケンのもとへ妾に出ると聞いてびつくりした。自分は吉野政助と共にヒュースケンを尾け狙ひ居る。それは主人織部正がヒュースケンに侮辱されたその返報をするため、しかしこのことはお花にはいへぬ、お花は三島三郎の意中に抽きしこの目的は知らず

花「三島さん、三年わたしはあの異人のそばにゐることにしたが決して操は賣りません。この事は安心して下さい。あの人は世話をすも兄さんと縁を切るためそれもお前さんのために思つてしたことですよ」  
三「それは俺も承知してゐる、まづヒュースケンを大事にしてやれ」  
といつたが、三郎はその後はお花のもとに近よらぬやうにしてをりました。お花は通譯の高木周藏を介して、わたしをかくまつて置

らこゝへ遊びに来る、ヒュースケンはお花の刺青を賞美して酒を飲む時は刺青を見て美しいといつて喜んでゐる。すると老中の安藤對馬守が下屋敷に外國公使を呼んで御馳走する今では大塚にありました。その時にヒュースケはお花をつれて来て  
「安藤さん、今日はあなたに美しい花を御覽に入れます」  
といつた。



と頼んだ、そこで周藏が靈岸島の河岸に賣家があつたを幸ひとこれを二百兩で買ふてこゝをお花の住居として女中を一人つけて置き折々ヒュースケンは高木をつけて麻布善福寺の旅館か

入れます」  
お花の手を引いて庭に入り  
「御覽下さい、これが物いふ花です」  
安藤侯がお花を見てびつくりした。これはおどろくわけです、一旦自分が妾に抱へやうとした女、時しも七月の事とお花は數奇屋の帷子を素肌に着て髪は島田に取り上げ、房々と金糸をかけ、金足に珊瑚八分珠の釵、帯は縞珍、數奇屋の帷子とて雪のやうな白い體に朱入の櫻の刺青がうつすらと見える。イヤ安藤公いよ／＼驚いた。他の公使はこれを見てこれにあつまつてお花の手を握り上げさげしたりして喜んでゐる。お花は安藤公の前へづか／＼と進み

安「それはかたじけなく、その花とは牡丹であるかまた芍薬か」  
ヒ「人語を解する花である……」  
安「さては美人であるな」  
ヒ「さうですたゞ今御覽に

からも洋盃を指す。ヒュースケンは大得意  
ヒ「お花はわたしの寶物です。歸國する時にはつれて行きます。この女三年間私の所有であります」  
とこんなことをいつてうれしがつてゐる。  
これを後に安藤侯が米國公使のハルリスに自分の妾を贈つたなぞと世間では中したが、その實はヒュースケンがこのお花をつれて安藤侯の岸敷に行つた。それが妾を贈つたことゝ誤られたのです。それ以來ヒュースケンは何處へ行くにもお花を連れて刺青を見せては喜んでゐる。  
さてこちらは三島三郎に吉野政助、ヒュースケンを討果さんものとその乗ずべき機會を窺つたが、警固の者の多いために近よることが出来ない。しかし屈せずたゆまず尾けてゐたが漸く其時機が到來した。

花「殿様、お久しぶりで目にかゝります、今度ヒュースケンの前にお側に引き取られましたか、今日のお招待について旦那と一緒に來ましたよ、今靈岸島の河岸に居りますから、あつちへ來たら寄つて下さいね、何んですね殿様、そんな顔をして、一つ御酒を頂きませう」  
と朱塗三合入りの盃を取つてそれにならんでゐた女中の前につき出し  
花「姐さんお酌をしておくれ」  
といつたが女中もこれにはびつくりした。事情を知らぬ他の公使は日本の女は快活で宜い、お花／＼と呼び聲高くあちらからもこち

### 御披露

此程店舗擴張の爲め平町停車場通り(元ダイヤ堂跡)甲陽館向ひに移轉致しました何卒御愛顧御用命の程御願ひ致します

### 時報堂時計店

お寒いになりました冷え性のお方はサゾお困りでございますが  
アタタメグスリ  
宮温湯を召し上るとキツト救はれます

お身體のお弱い御婦人  
冷え性の方  
下腹や腰等引きつり痛む方  
子宮のお悪い方  
なが血白血でお困りの方  
月經時に痛みを覺える方  
子寶のほしい方  
是非御試し下さい

平町古銀治町一〇縣社の下  
電話 四四四番  
振替口座東京三〇〇五番

蝶印藥  
阿康藥局

### 十二月二十日ヨリ 三井の歳暮大賣出し

- 絶讚新製品
- 初春日衣裳大特賣 錦紗小紋と訪問着
- 御婚禮衣裳大提供 江戸袷 丸帯 錦紗小紋 御召羽二重紋付 袴地 御召二枚重

越後 納	三、五〇
本場村山大島	五、八〇
秩父 銘仙	三、〇〇
昭和絹大島	一、八〇
レーヨン小紋	二、三〇
全足田長襦袢向	一、五〇
縮緬風呂敷箱入	二、〇〇
モス着尺	二、八〇

### 三井呉服店

電話三八・二八四番